

# 内灘町屋内温水プール指定管理候補者選定委員会 会議記録

会議名	内灘町屋内温水プール指定管理候補者選定委員会
日時	令和2年10月21日(水) 16時30分 ~ 17時30分 内灘町役場 301・302会議室
出席者	(委員) 田村委員長、田中副委員長、桐山委員、森委員、上出委員 (事務局) 久下教育長、上出文化スポーツ課長、表課長補佐、佐藤主事
主題	委嘱状の交付、委員長・副委員長の選出 企画提案者からのヒアリング、審査・評価、受託候補者の特定
内容	<p><b>1. 委嘱状の交付</b> 委員を代表して、田村委員に教育長から委嘱状を交付。</p> <p><b>2. あいさつ</b> 久下教育長あいさつ。</p> <p><b>3. 委員の紹介</b> 各委員自己紹介。</p> <p><b>4. 委員長・副委員長の選出</b> 委員互選により委員長に田村暢熙、副委員長に田中徹の両氏を選出。 田村委員長あいさつの後、議事を進行。</p> <p><b>5. 議件</b></p> <p>①指定管理制度及び公募等について 指定管理制度及び公募等について事務局から説明。</p> <p>②エイムによる企画提案書のプレゼンテーション 企画提案者(株)エイムより事業概要説明。(山崎社長ほか3名入室)</p> <p>【質疑応答】</p> <p>《委員》利用者の年齢層の分布の把握はできているか。 《エイム》新型コロナウイルスにより、6月から施設利用者に利用者情報を記載してもらっていることで、利用年代とどこから来ているかの統計をとっている。統計によると、全年代の中で50～70代の利用が多くなっている。特に70代の方が予想以上に多かった。</p> <p>《委員》石川県内で割安なスポーツクラブが増えてきている状況の中、トレーニングマシンの劣化などに伴う設備更新はなかなか難しいと思うが、出来る範囲で更新してもらいたい。 《エイム》今後、検討していく。</p> <p>《委員》知育玩具であるポーネルド遊具を設置した子供の遊び場について、地域コミュニティの拠点施設として、この遊び場のみの利用は無料とのことだが、これを上手く活用した取り組みはこれまであったか、それに類した取り組みを今後予定しているか。 《エイム》新型コロナウイルスの関係で遊び場の使用は現在中止をしている。それ以前については、天気の良い日に遊び場として利用している数が全体の2、3割ほどいた。プールの利用後や待ち時間に利用されている人もいる。今後は、こうした施設を知っている方がまだまだ少ないため、内灘町を含めた近隣の市町にも可能な限り周知していけるよう努めていきたい。</p> <p>《委員》内灘町スポーツ推進計画を策定する中で、子育て世代のスポーツ実施率が低いことが課題の1つとして挙げられている。エイムでは健康寿命の延伸や子ども達が利用できる環境の場としての取り組みをされているが、子育て世代へよりスポーツに親しんでもらうような取り組みを実施してもらえないか。</p>

《エイム》内灘町スポーツ推進計画の中でも特に30～40代の方がスポーツをやりたくてもできない状況であると記載されていると思うが、自主事業で実施しているヨガやエアロビクスの会員数は徐々に増えてきている。こうした事業が、この施設で行われているということがまだまだ知られていないのが現状である。プールの施設だが、実はジムやヨガも行っているといったところを今後周知していきたい。

《委員》是非、周知をお願いしたい。

《委員》津幡町の施設の指定管理予定者としてエイムが内定しているとのことだが、今後相互の連携といったことは考えられるか。

《エイム》連携は考えられる。

《委員》エイムには、2期(10年間)指定管理をお願いしてきているが、その中で寄附や器具の入替え、修繕などをさせていただき感謝している。その中で現在はコロナ禍の中で経営も苦しく厳しい状況だと思う。今後、状況が改善し、施設利用者が増加してきた際には、器具の入替えなどをまた頼めるか。

《エイム》対応は十分可能である。現在導入しているトレーニングマシンは全てが最新式ではないが、例えば筋力トレーニングマシンにおいても少しずつ形を変えてきている。また運動そのもののやり方も変化してきている。そうした中で、エイムでは直営店から随時、様々なマシーンを試している。こうしたことから、内灘町でもその需要の層や望まれるスポーツに対する方針・方向性などについてお聞きし相談しながら設備投資の方にも力を入れていきたい。

《委員》定期的にトレーニングの指導を行っているとのことだが、利用者は何曜日の何時に来たらトレーナーの指導を受けることができるのか、そもそも分かるような仕組みになっているか。

《エイム》現在はこうした取り組みができていないため、今後検討していきたい。

《委員》是非、お願いしたい。利用者が間違った方法で怪我をしたら元も子もない。70代の方の利用が多いという話があったので、少なくとも月1回の指導が受けられる体制を整備してもらいたい。

《エイム》当社でも、予防医学に民間のフィットネスクラブからの立場からも社会的に貢献していきたいと考えている。これからは高齢者の方の運動参加の中で間違った運動が症状悪化へとつながるため、定期的に指導日の日にちが分かる形で運動指導、講習会といったものも追加していきたい。

《委員》加賀市社会福祉協議会の方と高齢者の介護事業について連携していると思うが、内灘町でも同様の介護につながる事業の連携をしてもいいのでは。

《エイム》検討してまいります。

(以上、エイムによるプレゼンテーションが終了し退室)

### ③各委員による審査・評価

#### 【委員からの意見及び質疑】

《委員》エイムと町との定期的な意見交換の場はあるのか。

《事務局》会議やミーティングといったものはないが、四半期ごとに他指定管理者を含めモニタリングの報告書(利用者数、収入支出、利用者からの意見、トラブルの内容など)を提出してもらい、チェックしている。今年度は、新型コロナウイルスの影響から、月1回のペースで話し合いの場を設け、利用者数の推移や収支状況などについて確認をとってきた。

《委員》今回の指定管理料が前回提示額と同額であるが、現実には厳しいと思うので、今後その辺の検討も必要になってくると感じる。

《事務局》来年4月から運用をしていく中で、考慮していきたい。ただ、今年度、月1回のエイムとの話

し合いの場合では、9月の利用状況で前年同月比では8割ほど利用が戻ってきている状況である。4～6月の休業中と再開直後においては、収支を前年比と比較した結果、約300万円の減収であったため、町より補填をした。その後の収支状況を見ていると、利用人数は減少しているが、支出を徹底的に減らしているため、収支のバランスでいうと利益を出し続けている。こうした判断から、今回の提示額となったのではと考えている。町として今後状況を把握して、対応していかなければならないと認識している。

《委員》売上が落ち、コロナ対策で経費が掛かる状況であるので、実態を見極めて対応していただきたい。

《委員》委託期間の途中で赤字となって手を引かれると困る。

《委員》スポーツクラブはコロナ禍において、向かい風の状況であり、会員の休会が増えている現状もある。

#### ④受託候補者の特定

《委員長》(株)エイムを、屋内温水プールの指定管理候補者とすることに決定してよいか。

《委員》全員賛成

《委員長》当委員会の審議の結果、(株)エイムを、指定管理候補者として内灘町長へ答申する。

《事務局》後日、当委員会での審議結果を町長へ答申したのち、12月の内灘町議会で議決、その後、町とエイムで協定内容を協議のうえ4月1日運営開始の準備をする行程を説明。

#### 6. 閉会

委員長あいさつ後、終了。